

滞在型および日帰り市民農園利用者の属性・利用実態の比較

- 笠間クラインガルテンを事例として -

The Users' Property and their State of Use of the Allotment Garden

- In Case of Kasama Kleingarten -

古屋岳彦 牧山正男

FURUYA Takehiko, MAKIYAMA Masao

1. 序論

滞在型市民農園（クラインガルテン、以下「KG」）は、一般に地域活性化を目的として開設されている。しかし、その活性化効果は今日までに十分に検証されているとは言い難い。

本報はKGによる活性化効果の検証の前段階として、滞在型および日帰り市民農園双方の利用者（以下、それぞれ「滞在型」「日帰り」）の属性・利用実態について、特に地元住民との交流の実態に着目しながら比較検討を行った。

対象事例は茨城県の笠間 KG とした。施設内に滞在型および日帰り市民農園が各 50 区画あり、両者の比較に適するためである。なお、笠間 KG の概要については前報¹⁾を参照されたい。

2. 調査方法

滞在型は現在利用されている 49 区画、日帰りは重複利用や空き区画などを除いた 29 区画を対象とした。調査は 2004 年 1 月末～2 月中旬に対面式のアンケートを行い、未回収者へは郵送した。その結果、滞在型からは 44 通(90%)、日帰りからは 17 通(59%)を回収した。

主なアンケート項目は、属性(年齢, 職業, 居住地, 笠間 KG までの時間距離, 来訪形態)および地元住民との交流などの利用実態である。

3. 属性の違い

滞在型は首都圏在住の、日帰りは笠間市および周辺市町村の利用者が多かった。そのため滞在型は 6 割が 2 時間以上、さらに 1 割が 3 時間以上という時間距離を示したのに対し、日帰りは 9 割以上が 30 分未満であった(図 1)。

図 2 より、滞在型の来訪形態は 6 割が「夫婦」、次いで「個人」「友人」が共に 3 割であった。また家族に関しては、夫婦と子供の「二世世代家族」、さらに孫を加えた「三世世代家族」として考慮すると、前者が 2 割強で後者が 1 割強であった。一方、日帰りは「個人」「夫婦」で全体のほぼ半数ずつを占めていた以外には、「三世世代家族」による利用が若干ある程度だった。

4. 利用実態の違い

滞在型のほとんどが週末に 1~2 泊するといった利用をしている。半日程度を農作業に費やし、残りの時間で交流や散策などの余暇的時間を過ごしている。日帰りも主に週末利用をしているが、1 回の来訪あたりの滞在時間は 2~3 時間程度で、その大半を農作業に費やしている。

地元住民と知り合ったきっかけについては両者の間に明らかな差が見られた(図 3)。滞在型で「KG イベント」が 8 割と最も高く、次いで「付帯施設」「KG 内」が共に 4 割であった。その他は「周辺散策」「人の紹介」が共に 2 割であった。日帰りは最も高くても「KG 内」の 2 割強であり、全体的に滞在型を大きく下回った。中でも「KG イベント」「地域イベント」「付帯施設」に関しては滞在型の 4 分の 1 程度に留まり、「人の紹介」はなかった。

次に地元住民との交流内容を表 1 のように ~ までの交流段階に整理した。各段階に両者のそれぞれ何割が到達しているのかを図 4 に示す。滞在型は交流の初期段階である まででは 8 割、 で 7 割、 で 6 割と徐々に割合は減少し

ているが、半数以上が まで到達できている。

以上では、 が2割、 が1割と、 までと比べて到達割合が大きく減少した。これに比べて日帰りは までが3割、 が1割、 以上では全て1割未満という交流段階を示した。なお、滞在型で に到達していないケースや、逆に日帰りで まで到達しているケースも見られた。

5. 結論

これまで見てきたように、滞在型の市民農園利用者は、宿泊施設を有することから、利用目的や形態が多様化している。具体的には、2時間以上の遠距離にある首都圏から、家族のみならず友人なども含めた様々な利用形態での来訪が可能になっている。また滞在時間も長く、農作業に加えて多様な時間の過ごし方ができる。そしてそれらによって地元住民との深い交流を行いやすい環境にあるといえる。対する日帰りの利用者は、滞在場所が用意されていないことから交流などは行いにくい状況にある。

以上のように、宿泊施設の有無が利用者の属性や利用実態に強く影響することが、今回の調査により明らかになった。

【参考文献】1) 古屋, 牧山 (2003): 平成 15 年度農業土木学会講演要旨集, pp.816-817

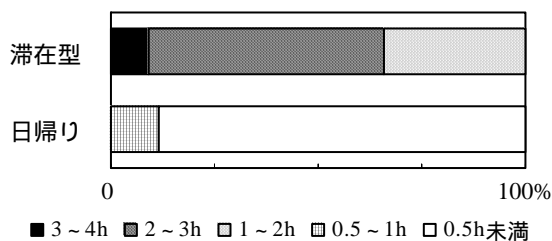


図1 自宅から笠間 KG までの時間距離
The distance from users' house to Kasama KG

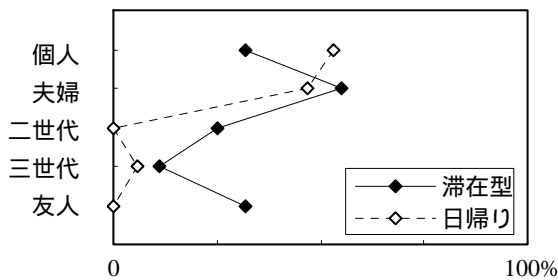


図2 滞在型・日帰りの来訪形態
The visit form

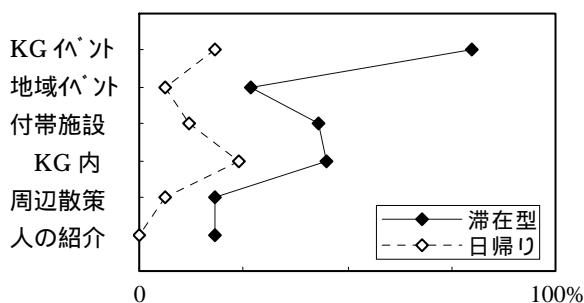


図3 地元住民と知り合うきっかけ
The meet chance with the local people

表1 地元住民との交流段階
The level of exchanging with the local people

交流段階	交流内容
弱 ↓ 強	会うと挨拶をする
	立ち話をする 農産物をもらう・買う
	一緒に食事をする お土産を渡す
	お宅を訪問する 農作業を手伝う
	一緒に出かける 電話や手紙でのやり取り
	自宅に招待する

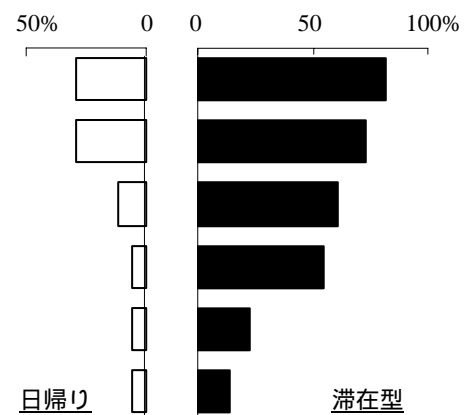


図4 地元住民との交流段階
The comparison of the level of exchanging with the local people